

避難

の予備知識

防災情報の伝わり方を知っておこう

災害が発生したとき、または発生しそうなときは、テレビ・ラジオ・ホームページで防災情報（気象・河川・道路情報や避難情報など）を確認しましょう。防災情報は、以下の図の流れにより町民のみなさんに伝えられます。



避難時の感染症対策

避難所では、感染リスクが高まるおそれがあります。

感染拡大を防ぐため、**分散避難**の検討や避難時の**衛生用品の携行**についてご協力をお願いいたします。

分散避難とは？ → 自宅や知人宅、宿泊施設、車中などの避難所以外の安全な場所に避難をすることです



まずはハザードマップで自宅が安全な区域であるかを確認しましょう

自宅が安全な区域の場合

在宅避難（動かない避難）

避難とは「難」を「避」けることです。

安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。

在宅避難をすることを想定し、飲料水や食料品、生活用水、日用品については最低3日間分を準備しておきましょう。

自宅が安全な区域ではない場合

安全な場所に住む 親戚・知人宅への避難

日頃からコミュニケーションをとり、災害時の避難について相談しておきましょう。

宿泊施設への避難

避難所での過密状態を避けるため、宿泊施設が避難所として活用される場合があります。

車中避難

換気や運動を心がけ、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒、熱中症などに十分注意しましょう。

危険・不安を感じる時は… 指定避難所への避難

- 非常持出品にマスク・アルコールスプレー・体温計・スリッパを加えておきましょう。
- マスクの着用、こまめな手洗い・消毒、咳エチケット等を徹底しましょう。
- 避難者同士のスペースを確認し、密を避けましょう。



スマートフォンの活用を！



スマートフォンのライト機能は懐中電灯代わりとなります。また、電話やメールは家族などへの連絡手段となり、ラジオが無くても情報収集が可能となるなど、災害時にも大変便利に活用できます。

バッテリー切れで使えないことがないように、モバイルバッテリーを備えておきましょう。